

JNSA 2007 年度ワーキンググループ活動報告会

JNSAの活動報告会は、今までも総会とあわせて開催してきましたが、今年は活動報告だけではなく、特に効果的な成果が出たワーキンググループの活動を中心にして、色々な課題や今後の方向性、他の活動との関連性などを探る内容としました。JNSAの活動を通して、情報セキュリティに関連する問題点を浮き彫りにし、これからの活動テーマについて情報共有を行いたいという意図がありました。この狙いは、ある程度成功したように思いますが、内容が盛りだくさんになってしまい、2部屋に渡って並行開催しましたが、休憩時間が合わなかったり、時間が押してお昼休みが短くなってしまふなどの課題もありました。各ワーキンググループの活動内容に基づいたセミナーやディスカッションは、別途独立して開催していきますので、併せてご参加いただければと思います。

■ 日時：2008年6月13日(金)9:30~15:30

■ 場所：ベルサール八重洲 3F

報告会は、25ページのプログラムのように2セッションパラレルで開催されました。

Room1では、JNSAの中に新しく設立された教育事業者連絡会(ISEPA)と教育部会、ユーザ部会のBoF、それと政策部会のBoFが開催されました。より広いRoom2+3では、政策部会と西日本支部のBoF、それとこの日に設立された日本セキュリティオペレーション事業者協議会(ISOG-J)、技術部会を主体とした報告と議論、そしてU40部会の報告がされました。

以下、部会ごとに各々で議論された内容をごく簡単にご紹介しておきます。

Room1

◆9:30-11:20 教育事業者連絡会(ISEPA)

「人材育成マップとキャリアパスの現状と今後について」と題し、(ISC)2の衣川氏がモデレータ役を勤めて、パネラー各氏のキャリアを中心に議論が進められました。キャリアパスの事例として各氏は文科系、理科系の転職経験者としての経験談が紹介され、議論が進められました。同じ会社でキャリアを積むには、スペシャリスティックな能力とジェネラリスティックな能力が求められると思われるのと、セキュリティについての専門家としての評価は現在もされていないし、成果物が見えにくいので今後も難しいのではないか、という議論がされました。

情報セキュリティについては、空気や水と同じで、あって当たり前、止まってしまうと責任を押し付けられ易いという点が大きな問題であり、先進性やチャレンジ性を評価できるようにしなくてはならないのではないかという意見が紹介されました。特に全体像や情報セキュリティの内容が見えていないの

ではないか、という議論がされていました。

◆11:20-12:00 教育部会

「教育部会の目指すもの」というテーマで、ITの教育を取り巻く状況や問題について問題提起とそれに対応した教育部会の活動内容と方向性が簡単に紹介されました。

2つ目に「情報セキュリティ教育の基礎情報と拡散への試行」というテーマで、SecBok-WGとセキュリティ講師スキル研究WGの過去からの活動を集大成し、新たなステップを実現するための企画が説明されました。T-1グランプリやスタープロジェクト等の内容と計画が解説され、参加者の協力をお願いしたい、という依頼がされていました。

3つ目にセキュリティリテラシーベンチマーク作成WGから、理解度チェックの2種のベンチマークとそこで最近追加された管理機能等について説明がされました。今年度からは経済産業省の委託が終了しJNSA独自で継続することになったので、名称やアイコンも変更し、更に柔軟な機能追加と運用を行

イベント開催の報告

うことを考えていることが説明されました。

◆12:30-14:00 ユーザ部会BoF

企業内の非IT部門などのユーザを対象としたユーザ部会がいよいよ発足しました。どのような点に悩んでいるのか、どのようになれば良いのかなどを会場の参加者とディスカッションしながら、情報セキュリティモラルの向上などについて、今後の部会の歩む方向性を確認する議論が行われました。

◆14:00-15:30 政策部会BoF

JNSA会員限定で「情報セキュリティ対策の評価について」というテーマで、評価や監査の実際や手法についてのざっくばらんな議論が行われました。事故が起こった時の事前対策の評価なども話題として挙げられ、何らかのガイドラインが欲しいというような意見も出ていました。特に結論は出さず、これからもその時々状況の共有するためのディスカッションを行いたいということでお開きになりました。

Room2+3

◆9:30-10:55 政策部会

3つのテーマで議論が行われました。最初は情報漏えいインシデントの調査結果を元にして、現実の対策の現状を探るものでした。情報漏えいの調査は引用件数がとても多い調査ですが、これからの調査の方向性の議論を行い、またこれまでの調査結果の編集データをCD-ROMで実費頒布しました。

2つ目は、経済産業省から委託されている情報セキュリティ分野の市場規模調査について、2005～2008年度の国内市場のデータを紹介すると共に、その海外市場との比較やトピックスが紹介されました。

3つ目は、新しい活動として動き出した、アイデンティティ管理や内部統制、J-SOX方関係の検討結果について議論されました。

◆11:00-12:30 西日本支部BoF

情報セキュリティについて、今までもアンケート調査などを行ってきていますが、自社の情報資産やリスク評価を行えばよいのか、JNSAが出来る貢献は何か、等々というテーマでディスカッションが行われました。

◆13:00-13:30 日本セキュリティオペレーション事業者協議会(ISOG-J)発足発表

この日(6/13)に発足が発表されたISOG-Jについて、その経緯や構成、活動内容について解説されました。

◆13:30-14:30 技術部会

技術部会からは2つのテーマで議論が行われました。JNSAのWebサーバをセキュアOSに変更した再のエピソードがパネル形式で紹介されました。実際の情報を公開することは、今まで躊躇していた人のハードルを下げることにもなり、JNSAとしての意義もあるだろうと言うことで、TOMOYO Linuxを適用したそうです。結果は、思った以上に簡単で、実稼働状況のサーバを移行する際の問題も直ぐ解決できたそうです。

2つ目は、「安全なWebサイトの構築・運用」についてWebアプリケーションセキュリティWGで作成したケーススタディ方式のコンテンツについて紹介されました。成果は、セキュリティ製品バイヤーズガイドの解説記事として活用されています。

◆14:30-15:00 U40部会

昨年から活動を始めたUnder40部会の活動から、勉強会や実験ネットワークの内容について紹介されました。実験ネットワーク(LaboNet)はほぼ準備が整い、夏くらいには実働できる状態になるだろうとのことでした。勉強会の後などに懇親会を行っていて、平均10名前後が参加しているそうです。幹事会へもオブザーバ参加し、徐々に幹事会への参加も進め、JNSAの次世代を担えるような意識を持って活動をしているとのことでした。

Room 1	
教育事業者連絡会 (ISEPA) (9:30 - 11:20)	
110分	人財育成マップとキャリアパスの現状と今後について (ISC)2 JAPAN 衣川俊章 氏 パネルディスカッション 「情報セキュリティのキャリアパス～現状と未来～」
教育部会 (11:20 - 12:00)	
5分	教育部会の目指すもの サイバー大学・JNSA 安田直 氏
15分	SecBok WG・セキュリティ講師スキル研究WG 長谷川長一 氏
20分	セキュリティリテラシーベンチマーク作成 WG JMC リスクソリューションズ 大溝裕則 氏
12:00 - 12:30 昼 休 み	
ユーザ部会 BoF (12:30 - 14:00)	
90分	企業内ユーザの情報セキュリティモラル向上への課題 モデレータ: 大塚商会 佐藤憲一 氏
政策部会 BoF (14:00 - 15:30) ※ JNSA 会員限定	
90分	情報セキュリティ対策の評価について モデレータ: ラック 西本逸郎 氏

Room 2 + Room 3	
政策部会 (9:30 - 10:55)	
45分	セキュリティ被害調査 WG NTT データ 大谷尚通 氏
20分	セキュリティ市場調査WG リコー・ヒューマン・クリエイツ 勝見 勉 氏
20分	内部統制におけるアイデンティティ管理WG グローバルセキュリティエキスパート 宮川晃一 氏
西日本支部 BoF (11:00 - 12:30)	
90分	何故進まない中小企業における情報セキュリティ対策 モデレータ: 富士通関西中部ネットテック 嶋倉文裕 氏 パネリスト: 経済産業省 下田裕和 氏 IPA セキュリティセンター 石井 茂 氏 JNSA 西日本支部長 井上陽一 氏
12:30 - 13:00 昼 休 み	
日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J) 発足発表 (13:00 - 13:30)	
30分	日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J) 発足について ラック 武智 洋 氏
技術部会 (13:30 - 14:30)	
50分	セキュア OS 普及促進WG JTS 澤田栄浩 氏
10分	Web アプリケーションセキュリティWG アイアイジェイテクノロジー 加藤雅彦 氏
U 40 部会 (14:30 - 15:00)	
30分	Under 40 部会活動報告 アイアイジェイテクノロジー 加藤雅彦 氏



政策部会発表の様子



ユーザ部会 BoF の様子